

フリガナ	ノハラ	ヒロシ	
氏名	延原	宏	
所属	共生社会学科 ビジネス・ITキャリアコース		
職名	教授		
最終学歴	放送大学大学院文化科学研究科情報学プログラム修士課程修了 大手前大学大学院比較文化研究科博士後期課程在籍中		
主な経歴・職歴	元 岡山県情報教育センター研究員・私立学校・公立学校教諭 前 神奈川工科大学情報学部情報メディア学科講師		
研究分野	商業教育、社会学、地域連携、PBL、情報教育、教育工学		
所属学会	地域文化教育学会、日本アクティブ・ラーニング学会、関西社会学会、 地域活性学会、情報コミュニケーション学会、観光まちづくり学会、日本情報教育学会		
担当科目	「情報セキュリティ」「課題実践Ⅰ・Ⅱ」「プログラミング技術演習Ⅰ・Ⅱ」「基礎簿記」「会計学」 「簿記の仕組み」「情報システム」「情報リテラシー」「基礎ゼミナール」		
研究業績等 (直近5カ年)	<p><論文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「テキストマイニングを用いた商店街の世代間ギャップの分析:都市部および地方の商店主意識の比較に関する予備調査」,単,令和7年3月,『地域文化教育学会論叢』No.13.pp. 32-40 ・「商業高校が取り組む商店街活性化実践における教育効果の検証:神戸市長田区大正筋商店街での取り組みを事例として」,単,令和6年3月『地域活性研究』No. 20.pp. 117-126 ・「プロジェクト学習におけるリモート取材の感想文分析」,共,令和4年9月『情報コミュニケーション学会学会誌』No. 18vol.1.pp. 36-41 他 <p><研究発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「商業高校のPBLを通じた商店街コミュニティの再構築:神戸市大正筋と津山市ソシオー番街の事例」地域文化教育学会,2025年11月 ・「AIを活用した集中度推定モデルの開発とビジネス的・教育的応用」AI時代の教育学会,2025年6月 ・「商業高校生による商店街活性化:都市部と地方の比較を通して」大手前比較文化学会,2024年11月 ・「商業高校のPBLにおける地域活性化実践の現状と課題:地方と都市部の比較から」地域活性学会,2023年9月 		
社会活動 (直近5カ年)	兵庫県私学教育情報化研究会, 幹事 沖縄県, 沖縄修学旅行SDGs EXPO 有識者会議メンバー		
学生へのメッセージ			
<p>本コースでは、情報処理・プログラミング・AI・データ活用といった分野を基礎から段階的に学べる授業を行っています。情報分野は「難しそう」「質問しにくい」と感じることも多いと思いますが、理解のスピードや得意・不得意は人それぞれです。授業中に質問することをためらう必要はありません。もし教室での質問が難しいと感じた場合には、どうぞ気軽に研究室を訪ねてください。一人ひとりの状況に応じて、できるだけ分かりやすく、丁寧に一緒に考えていきたいと考えています。</p> <p>情報技術は、将来の仕事や社会参加、地域や人とのつながりを広げるための大切な道具です。失敗を恐れず、挑戦しながら学ぶ姿勢を大切にしてください。</p> <p>皆さんの学びと成長を、教員として全力で支援します。</p>			